

四 次の文章は、醍醐天皇時代の左大臣藤原時平について回顧したものです。本文を読んで、後の問題に答えなさい。(配点四十点)

延喜の、世間の作法したためさせ給ひ I ども、過差をばえしづめさせ給はざりしに、この殿、制を破りたる御装束の、ことのほかにめでたきをして、内にまゐり給ひて、殿上にさぶらはせ給ふを、帝、小部より御覧じて、御気色いと悪しくならせ給ひて、職事を召して、「世間の過差の制きびしき頃、左の大臣の、一人の人のいひながら、美麗ことのほかにてまゐれる、便なきことなり。早くまかり出づべきよし仰せよ」と仰せられければ、承る職事は、「いかなる事にか」とおそれ思ひけれど、まゐりて、わななくわななく、「しかじか」と申しければ、いみじくおどろき、かしこまり承りて、御隨身の御先までも制し給ひて、急ぎまかり出で給へば、御前どもあやしと思ひけり。さて、本院の御門一月ばかり鎖させて、御簾の外にも出で給はず、人などのまゐるにも、「勘当の重ければ」とて、会はせ給はざりしにこそ、世の過差は平らぎたりしか。内々によく承りしかば、さてばかりぞしづまらむとて、帝と御心あはせさせ給へりけるとぞ。

またこの大臣は、ものをかしさをぞ、え念ぜさせ給はざりける。笑ひたたせ給ひぬれば、すこぶる事も乱れけるとか。北野と世を政りごたせ給ふあひだ、非道なる事を仰せられければ、さすがにやむごとなくて、せちにしたまふ事をいかがは、とおぼして、「この大臣のし給ふことなれば、不便なりと見れど、いかがすべからむ」と嘆き給ひけるを、なにがしの史が、「ことにもはべらず。おのれ、かまへてかの御ことをとどめはべらむ」と申しければ、「いとあるまじきこと。いかにして」などのたまはせけるを、「ただ御覧ぜよ」とて、座に着きて、こときびしく定めものしり給ふに、この史、文刺に文挟みて、いらなくふるまひて、この大臣にたてまつるとて、いと高やかに鳴らしてはべりけるに、大臣、文もえ取らず、手わななきて、やがて笑ひて、「今日は術なし。右の大臣にまかせ申す」とだに言ひやり給はざりければ、それにこそ菅原の大臣、御心のままに政りごち給ひ

II

(『大鏡』による)

(注) 延喜の、世間の作法「延喜」は醍醐天皇およびその時代を表し、その時に法典や儀式書が整備されたことを指す。
過差Ⅱ度を越えたぜいたく。この殿Ⅱ藤原時平。職事Ⅱ藏人所の役人。御隨身の御先Ⅱ近衛府の官人による先払い。本院Ⅱ時平の邸宅。勘当Ⅱここでは帝の御とがめ。北野Ⅱ右大臣菅原道真。史Ⅱ太政官の下級役人。文刺Ⅱ貴人に文書を挟んで差し出すための杖。いらなくⅡ大げさに、仰々しく。鳴らしてⅡおならをして。

〔問題〕

(一) 二重傍線部①・②の漢字の読みを平仮名の現代仮名遣いで解答欄に記入しなさい。〔解答用紙記述〕

(二) 傍線部ア「御気色いと悪しくならせ給ひて」とありますが、具体的にはどのようなことを表していますか。もつとも適切

なものを、次の1〜4の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙アク〕

- 1 立場がとても悪くなってきたと御覧になって
- 2 機嫌がとても悪くなっているしやっ
- 3 体調がとても悪くおなりになってきて
- 4 状況がとても悪くなってしまうわ